たちがどのくらい成長するかを

るため、教官自身も自己研鑽

12.高橋康哲 231

14.田之倉威啓 231

16.野呂瀬葉子 241

17.バヤルシャルガル・

ホルルカ・ラワ 241

18.桝田剛 221

19.松尾彰美 243

20.米澤良幸 233

21.渡辺健 223

13.竹内誠 222

15.得田修 222

に励みます.

考えると、非常に楽しみな反面、

直に嬉しい。今後の三年間で君

弋

質の高い教育を維持す

な君たちを迎えることができ素

ようこそ二年生諸君。優秀

教官相互に授業内容を批 し、授業の質を高めます.

評

全員進級 第3学年(第51期)学生

六、すべての授業を公開

千葉矩正

機械工学学科長

その責任の重さに緊張もしてい

る。

るためあえて文書化し配

布す

である。

礎学力あってこそのやる気」 繰り返し、徹底暗記せよ。「基

学生・教官の意識を鼓舞す

日頃考えていたことにすぎない針を定めた.内容は私達教官が

言う。

受験生のように基礎を

1.安積健司 242

2.伊藤幸司 212

3.稲田善紀 221

4.岩月賢二 213

5.柏本和義 241

7.藏屋雄介 242

9.阪本大介 231

10.嶋田修之 222

11.白戸和規 232

6.加藤僚 232

8.是澤亮 221

たせるため機械工学科の

教育方

気は承知しているが、あえて

諸君達の学力の高さとやる

以上の七項目である.

る.

諸君らの教育に一貫性を持

ます。

そのために反復教育、

詰

基礎重視の授業を徹底

め込み教育を行います。

厳正な成績評価をします。

不可

機械工学科配属

第2学年(第52期)学生

三、成績評価の基準を公表し、

をつけることもためらいませ

た成人として扱い、

決して学生

学生一人ひとりを独立

1.伊藤史晃 113

2.植木陽子 133

3.枝元孝史 111

4.勝葉大輔 142

5.神尾政行 141

6.河上 剛 112

7.久木田知也 121

8.椎原尚輝 133

9.高橋一平 123

10.竹鼻亮道 132

11.田中浩章 143

12.津田祐介 113

13.成田 優 111

14.樋口一成 143

15.真﨑康次 122

16.水野秀治 121

17.横田拓也 121

18.阿部 勤 133

19.岡田太地 111

評価される。

慢心しては

11 け 3

熱工学

.小山祐輔 243

本田明也 213

中川蔵太 231

池上朋幸 212

20.小川裕一郎 131

を要求します。努力をしない学

自己研鑽と最大限

 \mathcal{O}

努力

21.久山正晃 131

22.光畑康生 123

24.瀬口雅治 143

25.土肥 紘 112

26.松橋勇介 112

27.森口雄太 142

28.稲津英輔 132

29.大堀雄太 141

31.辰巳優介 121

32.田中聡信 123

33.中島正喜 133

34.中濱昌博 141

35.長尾雄司 111

37.橋本浩尚 143

38.平井洋介 131

39.別府洋祐 112

40.松永康佑 142

41.本 悠弥 143

36.西岡晋太郎 122

30.小田賢一郎 132

23.斎藤啓一郎 121

生は必要ありません。

(不定期刊行物)

ろん3、

く。機械工学科の教官一同、君たちを歓迎する。

33.江崎翔一 232

34.坂元雅史 211 35.高木直敏 211

36.竹中さあや 242

37.永吉健志 213

38.橋口邦彦 212

39.松浦由希 231

4年生、研究科も同じ気持ちである。

おさらである。新二年生は例年にも増して優秀と聞いる。特に配属学科が決まった新二年生(五二期)はな

新年度の始まるこの時期、どの学生も期待に満ちて

基礎学力」

を馬鹿にしません。

学生の教育を第一と考

ってこその

「やる気」

え、教官はい

かなる援

が助も情

22.梶山智之 221

23.神戸健輔 241

24.冝保直毅 232

26.嶋田雅一 231

27.永田英之 223

28.日高智雄 223

30.三笠太郎 233

31.山田純也 243

32.秋山伸 222

29.桝田真里子 231

25.志垣勲 221

しみません。

第五

一期)学

数:第3号

お寄せ下さい.筒井まで.機械工学科に関する記事を言いたいこと、自分の主張等 学生に言いたいこと、

教官に

11

ょ

いよ「専門科目」

機械工学学科長

発行所:機械工学科 責任者: 学科長編集員: 有志 創刊: H16 12/1 機械工学 科学科長 承認之印

非常に喜ばしい四四人全員

ばしい。 全員が無事進級

できて

進級おめでとう。

千葉矩

進級おめでとう

40.三橋健太郎 233 41.森田隆之 241 三年生 42.八坂陽範 213 43.横道武志 241 44.吉田憲正 231

さて、三年になると本格的な専門科目の授業が始まる。二年で修明科目の授業が始まる。四年生は方難を排し対応する。四年生は方難を排し対応する。二年で修は方難を排し対応するが、私達教官一同も諸君達の質問・要求に対しては方難を排し対応するが、私達教官一同も諸君達の質問・要求に対してさた。四年生を見習、設計製図、実験は方難を排し対応する。二年で修門科目の授業が始まる。二年で修門科目の授業が始まる。二年で修門科目の授業が始まる。二年で修門科目の授業が始まる。二年で修門科目の授業が始まる。二年になると本格的な専門科目の授業が始まる。二年になると本格的な専門科目の授業が始まる。二年になると本格的な専門科目の授業が始まる。

4年生の「一言」 教官の熱弁より重い

生の一言には教官の熱弁も及ば っている。一挙手一投足が注目 は四年生の「一言」。つまり、「四 の卒研講座の選択いずれも決め である。二年生の選択科目、三年生 諸君達は機械工学科の将来を担

流体工学

松田耕助 241

前田良太 241

山下隼平 232

真柴智樹 221

君たちの背中が後輩を導く。

官が一年生に対しいくら熱弁を振 絶大である。例えば、学科見学で教 年生に対しては君たちの影響力は ところで,決め手は四年生の「一言」 って学科のすばらしさを説明し 手本となる。言葉には出さずとも、

強度設計

上田幸史 211

頭するだけである。まじめに、ひた できる。そればかりではない、真摯 むきに研究に取り組むことで、充実 最後仕上げはこの一年を研究に没 越え、優秀な成績でここまで来た。 に取り組む姿は後に続く後輩達の した防大生活を締めくくることが 配属され研究活動が始まる。学生 いよ四年生、各専門の研究室 特に一

制御加工

中神陽平 212

大澤仁士 242 山崎善史 221 中村紘巳 231 ハルタル・ヒシグスレン 241 櫻田貴洋 211 本蔵智久 211 鷲峰清三 213 .関裕矢 242 寺村雄一 213 竹村良太 211 山内大志 221 野口祐太 223

り上げたか。機械工学科の教官にそのさて、何故唐突に「横井小楠」を取

子孫がいるからである。名字からわ

な影響を与えたとされる。「日本の

玉

防」の概念はここから出発した。

施」と「海軍力の増強」の二箇条は特

に注目され、勝海舟の海軍構想に大き

七箇条の綱領のなかに「公共の政の実

機械材料

虻川和也 222

四年生諸君へ

だろう。諸君達は幾多の困難を乗り 舎においては勤務学生や下級生の 指導等で益々責任が重くなること 機械工学学科長 千葉矩

> 計測制御 自動車 藤原弘副 231 石田辰徳 222 佐藤雄俊 243

塩谷勝将 222

がら、

らない人物である。横井は熊本藩士な と地味で、余程の「通」でなけれ 知っている人は、そう多くはないと思

西郷隆盛や坂本龍馬などと比べる

明治維新に活躍した「横井小楠」を

を知っているか

れそのブレーンとなった開国論者であ

福井藩主松平慶永(春嶽)に招か

横井が作った「国是七条」と言う

奈良本晴彦 213 永田正隆 213 .細谷英寿 244 中村雄也 234

君は「横井小楠」

トピックス

機械力学 田村太宏 211 伊藤正貴 233



新学科長 千葉教授

第一次「千葉内閣」

発足

四月一日付けを持って千葉

助教授(図書)の面々が就任し 員として横井講師(厚生),山川 筒井助教授(教育)、学科代表委 科長の補佐役として宇根教授 教授を学科長とする第一次 (副学科長)、渡辺教授(整備)、 「千葉内閣」が発足した。学 その他の委員は省略。

関連書籍の紹介

見守っているようだ。

思い描いた「日本の国防」の行く末を

や観艦式等の自衛隊主要行毎に参加す

かりではない。機会ある事に部隊研修

る横井講師の姿は、かつて横井小楠が

まであり、それは子孫にも受け継がれ く、好みの酒の銘柄を紹介している本 ある。小楠は無類の酒好きだったらし るように、流体工学の横井嘉文講師で

ている。受け継がれているのはそれば

徳永洋著、「横井小楠」、

松浦玲「佐久間象山·横井小楠」日本 の名著三〇・中央公論社、一九七〇。

新潮社、